

テトテトテトテテ

校長だより 2023.11.18 NO.6

小学部

子どもを主語にした学校づくり③

「みんなでうんどうかい」

・しっぽとり



・つなひき



・パンくいきょうそう



・かり人きょうそう



・リレー



11月は旧暦で「霜月(しもつき)」と呼ばれますが、上旬は、夏日を記録するほどの温かさでした。一転して、今日(18日)は、松江で初雪を観測しました。去年よりも26日も早い冬の訪れです。震えるような寒さの中、体育館では、熱気あふれる小学部運動会が開催されました。

今年度は、「子どもを主語にした学校づくり」をめざし、学校行事を大幅に見直しました。例年6月に実施していた「体育祭」を取りやめ、生徒会企画の「全校交流会」を実施しました。

このことについて、小学部の保護者さんから、「子どもたちが楽しみにしている体育祭がなくなるのは残念だ。」「子どもの気持ちをしっかり聞いてほしい。」等の意見をいただきました。昨年度、中高部の生徒には時間をとって、学校行事の見直しについて説明しました。生徒たちは、納得したうえで新たな生徒会行事を企画・運営してくれました。保護者の声を聴き、小学部の児童への説明責任が果たせていなかったことを深く反省しました。そこで、6月に実施した「全校交流会」の後、小学部児童を校長室に招き、「こどもサミット」を開くことにしました。この会で、「交流会は楽しかったが、体育祭がなくなって悲しかった。」という子どもたちの思いを直接受け取ることができました。また、「小学部のみんなでスポーツ大会がやりたい。」「お家の人に見てもらいたい。」という意見も聴くことができました。そして、子どもたちの力を信じて任せるべきだと強く思いました。「大丈夫。行事はみんなで作ることができます。これから、みんなの意見を大事にして、実現に向けて話し合っていきましょう。」と伝え、「こどもサミット」を終えました。

その後、小学部の児童会を中心に話し合いを重ね、大会名、競技種目、準備や当日の役割分担などを決めていきました。当日は、子どもたちの笑顔あふれる素晴らしい運動会となり、まさにウェルビーイングを実現する教育活動となりました。自分たちで企画し、当日の準備、片付けも主体的に取り組んでいた子どもたちの顔は、達成感、自信に満ちあふれていました。子どもたちの確かな成長を保護者の皆さんと共有できたことは、私にとっても大きな喜びでした。